

市民活動 情報 Vol.14 2004.1

●市民活動基礎講座●

介護保険制度の充実をめざして

介護保険制度が施行されて5年がたち、見直し作業が始まっています。高齢者のあり方を考え、そしてコミュニティ運動の一環としての生活学校運動をどう進めて行くかを討議します。

日 時：平成16年2月27日(金)10:30～15:00

会 場：札幌市 カでる2・7 820号室(札幌市中央区北2条西7丁目)

内 容：基調講演

「要介護者を作らない地域活動(健康とコミュニケーション)」

講師

五輪橋産科婦人科小児科病院 理事長 丸山博士氏

/ナレディスカソシヨン

コーディネーター

北海道生活学校連絡協議会 会長 佐々木文子氏

/ナリスト

北海道社会福祉協議会 地域福祉部 藤田裕行氏

千歳福祉サービス公社 千代京子氏

北海道保健福祉部介護保険課

北海道生活学校連絡協議会 事務局長 三島明子氏

参加費：無料

企画共催団体：北海道生活学校連絡協議会

TEL&FAX 0133-74-7190

参加申込み：同上

留萌

●市民活動基礎講座●

飛び出せ！留萌ひと

市民活動に対する市民の意識の向上、市民活動によるまちづくりへの参画の可能性を探り、市民活動の活性化(普及)と人材育成(啓発)を目指して開催します。

日 時：平成16年3月19日(金)19:00～21:00

会 場：留萌市中央公民館(留萌市党町2)

内 容：留萌市市民活動推進条例による助成制度で、平成15年度に支援を受けた市民活動団体の事例報告会を行うと共に、既成の成果と自己評価を他の団体や市民に披露します。

参加費：無料

企画共催団体：留萌市

TEL 0164-42-1902 FAX 0164-43-8780

参加申込み：同上

●これらは、それぞれの団体からの企画提案により開催いたします。また、開催日時などは、変更になることもありますのでご確認ください。

市民活動団体スタッフ養成講座 「NPO・NGOスタッフトレーニング」ついに完結！

6月28日にスタートし、およそ半年間に渡って開講してきました「NPO・NGOスタッフトレーニング」(通称「ストレ」)の30日間の全日程が12月14日に終了しました。この講座には20代の学生から70代のシニア世代までの若男女が参加し、毎週土曜日に集いました。

一口に30日といいますが、仕事や家庭、そしてそれぞれの活動を持ちながら通うことは並大抵のことではありません。実際、様々な

○活動紹介コーナー

常に問題意識を持って生活しています

北海道生活学校連絡協議会

○市民活動促進センター相談員からのワンピント(第11回) 3

組織の顔

ONPOイベントリポート

NPO法人連絡会に参加しました

○助成金情報、オススメBOOKS、センターインフォメーション 4



●市民活動地域フォーラム●

日高山脈主峰「幌尻岳」フォーラム

登山者による山岳環境の汚染とマナー低下が問題化しつつあり、市民と行政とのパートナーシップやネットワークづくりが求められていることから、幌尻岳を例にフォーラムを開催します。

日 時：平成16年2月28日(土)10:00～16:00

会 場：平取町 みれいのセンターひらどり(平取町本町)

内 容：講演

「市民と行政のパートナーシップとは～世界自然遺産指定地白神山地の場合」

講師

白神山地ブナ原生林を守る会 事務局長 鹿村清明氏

/ナレディスカソシヨン

/ナリスト

平取町山岳会長 石森 充氏他3名

参加費：無料

企画共催団体：日高山脈ファンクラブ

TEL&FAX 01457-6-3680

参加申込み：同上



●市民活動スキルアップ講座●

ボランティアマネジメント＆ファシリテーター スキルUPトレーニング

市民活動におけるボランティアのマネジメントとファシリテーター(学習・活動援助促進役)としてのノウハウの習得を目指して開催します。

日 時：平成16年2月 8日(日)、22日(日)10:00～17:00

②平成16年2月14日(土)、15日(日)10:00～17:00

会 場：千歳市総合福祉センター(千歳市東豊町2丁目34番地)

内 容：①ボランティアマネジメント講座

第1回目テーマ「マネジメントの基本と導入」

第2回目テーマ「ボランティアマネジメントの仕事と展開方法」

②ファシリテータースキルアップ講座

第1回目テーマ「ファシリテーターの機能と組織論」

第2回目テーマ「ファシリテーターの知識と実践」

参加費：無料

企画共催団体：NPO法人 北海道ボランティアコーディネーター協会

TEL&FAX 011-231-8856

参加申込み：北海道立市民活動促進センター

TEL 011-261-4440 FAX 011-251-6789



事情で残念ながら途中で来られなくなってしまった方もいましたが、それでも常に20名前後の方々が講座に参加され、出席率8割以上の16名の方々には修了証書が授与されました。今後はこの講座での学びや、様々な出会いを活かしながら、一人ひとりがさらに活動の場を広げ、道内の市民活動の一翼を担っていっていただきたいと思っています。

常に問題意識を持って生活しています

北海道生活学校連絡協議会

昭和41年に結成されて、今年で38年になります。主婦の目で地域の課題を見つけて解決していく実践団体です。

この学校の前身は新生活運動から始まっており、初期の運動は、有害な食品添加物をなくしたり(無漂白パン、チクロ食品)、上水道の設置、集会所づくり、バスダイヤの改正などに取り組みました。

オイルショック前後の頃には、過剰包装追放運動、ビン・カンの回収運動などに取り組み、ゴミの減量に大きな成果をあげました。

今取り組んでいることは、スーパー・コンビニのレジ袋削減運動と、介護保険制度の充実です。

今回お話をあわせた三島事務局長は「この運動に携わって16年、これからも常に問題意識をもって課題探しをしていきたい」と笑顔で話す、その姿はとても元気で輝いていました。私たちの日常生活はこの会の方々の頑張りの上に成り立っていたということに気づかされました。

活動紹介 コーナー



(研修会風景)

北海道生活学校連絡協議会

〒061-3213 石狩市花川北3条2丁目4番地
三島明子方
TEL&FAX 0133-74-7190

■情報スクランブル

(情報送付シートなどでお問い合わせください)

◆東大雪冬のネイチャーツアー◆

内 容: 東大雪糠平周辺で、冬にしか味わえないネイチャーハイクをしてみませんか?
プロのガイドがついて安心して楽しめます。
アイスフィッシング(ワカサギ釣り)、ネイチャースキー(森の散策)、スノーシューハイク(森の探検)があります。
日 時: 平成16年1月~3月の毎日、いずれも9:00~正午
場 所: 集合・解散はひがし大雪自然ガイドセンター(上士幌町糠平温泉)
参加費: 子ども1,500円~2,000円、大人2,500円~3,000円
連絡先: NPO法人 ひがし大雪自然ガイドセンター
TEL&FAX 01564-4-2261
URL: <http://www.netbeetne.jp/~shizer/>

上士幌

◆(仮題)北海道における華族大農場制 (とかち池田農場)◆

内 容: 「ワインのまち」池田町が明治29年にタイムスリップ!
池田町開拓を担った、侯爵 池田仲博(江戸幕府第15代將軍 德川慶喜の五男)が経営した小作制大農場の歴史をひも解く!
講演者は山崎 徹氏(前池田町史編纂委員会特別委員)です。
日 時: 平成16年3月13日(土)13:30~15:00
場 所: とかちブライダル 視聴覚室(帯広市西4条南13丁目)
参加費: 無料
連絡先: NPO法人トカブチの森
TEL: 0155-27-3161 FAX: 0155-24-4226
URL: <http://www.9.ocn.ne.jp/~tokapchi/>

古川牧

◆財政講座『自治体財政がピンチ』◆

内 容: 日本の財政は、中央政府、地方政府ともおそらく人類史上に残る、少なくとも戦後世界では最大の累積債務を抱え、立ち往生しようとしている。2002年度末で両万合を越えた総債務残高は、832兆円のぼり、GDP500兆円を過ぎたのが17倍となっている。とりわけ財政余剩が生じて、中央政府と違って公債管理政策を使って公債を中央銀行に引き受けさせることができない地方政府が、財政赤字を抱え込んだら最後、その解消は容易なことではない。
私たち自治体・市民団体が自立して生き延びるために何ができるだろうか?...
講師は、財政アナリストの青木秀和さんです。
日 時: 平成16年2月21日(土)13:30~16:00
場 所: 苫小牧市民会館(苫小牧市旭町3-2-2)
参加費: 700円(地域通貨のメントー500円+20ガル)
連絡先: NPO法人 がるだする
TEL: 0144-34-2385(館崎)

境橋

◆協働による町づくり◆

内 容: 次のことをテーマとした勉強会を開催します。
・行政や民間企業、NPO団体、ボランティア団体の協働について
・ボランティア、NPO団体等のあり方などについて
日 時: 平成16年2月5日(木)10:00~12:00
場 所: サンホール はびねず(震度町南1-3)
入場料: 無料
連絡先: NPO法人 たかす体験学園
TEL&FAX: 0166-52-0495

◆第6回 緑の回廊講演会 緑の目、鹿の目、人工衛星 の目~高いところから見た真駒内の自然を考える~◆

内 容: 人工衛星などを活用したGIS(地理情報システム)という手法に詳しい、酪農学園大学助教授の金子正美氏をお招きし、真駒内の自然環境について考えます。
日 時: 平成16年2月14日(土)14:00~16:00
場 所: 真駒内ハイツ北海道青少年会館(札幌市南区真駒内柏丘7-8-1)
受講料: 無料
連絡先: 真駒内・芸術の森緑の回廊基金
TEL: 011-582-4090 FAX: 011-582-4091
URL: <http://www.web-times.com/mori/green/>

◆つなぎます。創りましょう。

地域文化の駅(プラットホーム)◆

内 容: NPO法人コンカリニヨは、「アートを生かしたまちの拠点」となるような劇場建設を目指しています。
今回のフォーラムでは、まちをフィールドに、アート活動をしている方々と、それぞれの活動の広がりや人のつながりが、どんなふうに地域文化を創っていくことができるか、楽しく語ってみたいと思います。

第一部は、齊藤ちづさん(NPO法人 コンカリニヨ)、飯塚優子さん(赤い実企画)、橋本隆平さん(コミュニケーション・アート・アート)などによる「ナレディスカッション」です。第一部と第二部の間に札幌フュージョンによるミニライブがあり、第二部は、第一部の話を受けて、磯田憲一さん(太陽北海道地域づくり団体理事長)と伏見信治さん(札幌国際大学教授)のトークがあります。
日 時: 平成16年2月19日(木)19:00~21:00(18:30開場)
場 所: 10F(札幌市西区琴似1条5丁目 地下鉄琴似駅構内地下)
連絡先: NPO法人 コンカリニヨ
TEL&FAX: 011-615-4859
URL: <http://www.concarino.or.jp>

札幌

市民活動促進センター

相談員からのワンヒント(第11回)

組織の顔

この数年、いろいろな市民活動の担い手に会ってきた。活動に参加したいと思ったとき、趣旨や組織の形態を基準に入会する団体を選ぶことはもちろん、決定理由になるのがこの組織の人の顔である。

外国人からみた日本人の印象は決まって「何を考えているのかわからない」として意思表示をしないのかつまり「ポーカーフェイス」の日本人が多いらしい。自分の気持ちを外に表さない日本人に対する是非はともかく、意思を行動に表していくことは絶対にするべきだと思う。

なぜなら、市民活動をする上で、動かないことは新しいことが生まれないことを意味し、その人はいつも同じ顔つきになってしまふ。

すなわち「組織の顔」がいつも同じであることを意味する。組織の中心人物がいつも同じ顔ではつまらない。成長するためには挑戦していくなければならない。

市民活動を始めた年齢の方がパソコンで原稿を作り、それを印刷していた。

パソコンも印刷も慣れ機械操作は苦手だという。でもどうしてもパンフレットを作りたい、どうしても言いたいことがある。真面目で挑戦した結果、機械の操作もなんとかこなし、すばらしいパンフレットを完成したとき、言うまでもなく彼の顔つきは違っていた。

まず最初にやりたいことがあり、苦手なことや困難なことに挑戦し、いくつかの難関を経て活動を繰り返す。

与えられた仕事ではなく、作り上げていくことに充実感が伴うためだろうか、「しみセン」に来る人たちの顔がどんどん変化していく。

「いい顔」へと変わっていくことは「いい組織」を意味している。それはやがて組織全体に感染し、世の中まで動かすかも知れない。

NPOイベントリポート

NPO法人連絡会に参加しました

平成16年1月10日(土)、「NPO法施行5年～これからNPO活動の課題」をテーマにNPO推進北海道会議、北海道NPOサポートセンター主催の北海道NPO法人連絡会が札幌エルプラザで開催されました。

この連絡会は、NPO関係者が集い年2～3回開催している集会で、今回は、いわゆるNPO法が施行されてから満5年が経過したことから、この5年間を振り返り、NPO法人の現状把握と今後の活動の課題について話し合われました。

この中で昨年12月1日、東京で開催されたNPO施行5周年記念シンポジウム「NPOの過去・現在・未来」の報告と道内の支援センターの役割や今後のあり方、また行政との協働における新しい仕組みづくりなどについて提案がありました。

引き続きHOE(人と組織と地球のための国際研究所)代表の川北秀人氏による「これからNPO活動の課題」をテーマとした講演とフリップ・ディスカッションが行われました。

この講演では、社会とNPOの5年間を振り返り、市民団体がいかに市民に信頼される存在になれるかが今後のテーマであると提言していました。

また、これから5年間として、NPOは市民・企業・行政と信頼の循環を生み出し、そのため何をすべきかを絞り、情報を積極的に開示する必要があることなどが問題提起されました。

フリップ・ディスカッションでは、各参加者が「2年前と今とで、団体や地域が変わったこと」「2年後、団体や地域がどうなっていいか」「2年後の実現のために～自分がしなければならないこと・誰かの支援を得て実現すること」についてフリップで発表し、自分の活動の振り返りと今後の活動に必要なことなどを再確認できたディスカッションでした。



[主催] NPO法人 NPO推進北海道会議
NPO法人 北海道NPOサポートセンター
〒060-0062 札幌市中央区南2条西10丁目
クワガタビル2F
TEL 011-204-6523 FAX 011-261-6524

市民活動ミニミニ情報

パート1

今すぐできるちょっとボランティア(その4)

●「イオン 幸せの黄色いレシートキャンペーン」

スーパーのジャスコなどを経営するイオングループは、毎月11日を「イオン・デー」と定め「エコロジー(環境)とローカル(地域還元)」をテーマに全従業員が地域貢献を行う日としています。

この「イオン・デー」の一環として「イオン 幸せの黄色いレシートキャンペーン」を行っており、お客様が精算時に受け取った「黄色いレシート」を、地域のボランティア団体等の名前が書かれた専用ボックスに投函すると、レシート合計の1%をイオンがその団体へ商品で還元します。専用ボックスには、各団体の活動内容が記載されており、支援したい団体を選択することができます。

このキャンペーンはジャスコやマックスバリュー、フードセンターの各店でも実施しています。

イオンのホームページは、
<http://www.aeon.info/hotpress/backnumbers/189/>

パート2

みどり信託

地域住民主体のみどりづくりを促進するため、住民が各家庭で栽培している樹木や花を無償で譲渡したり、譲り受けたりするための情報を「みどり信託」として掲示し、道民のみなさんへ情報を提供しています。

掲示内容

樹木や花を提供してくれる人々や譲り受けを希望する人々の氏名、連絡先、樹木の種類、数量、大きさ、花の色などの情報を掲示されています。

詳しくは、北海道水産林務部森林環境室ホームページ「北のみどり情報BOX」をご覧ください。

<http://www.pref.hokkaido.jp/srinmu/sr-dkkkr/homepage/midori/undou/bank/bank4-3.htm>

助成金情報

第2回日本都市計画家協会賞

対象事業：個人、法人、各種団体、NPO、大学等の教育機関、コンサルタントおよび地方公共団体等が行った、または、行っているまちづくりの取り組みに助成します。

助成金額：総額100万円（大賞4部門各20万円、特別賞3部門各10万円）

応募期限：平成16年2月29日（当日消印有効）

連絡先：NPO法人 日本都市計画家協会

TEL 03-5401-3359

FAX 03-5401-3389

URL <http://www.mmp.or.jp/jump/>

第5回社会貢献基金助成

対象事業：地域の種々の災害の復旧、社会福祉事業、環境保全事業、国際協力など社会貢献活動を行う各種団体等への助成、並びに社会貢献に資する調査・研究を目的とした事業に対し助成します。

助成金額：1件あたり200万円を上限

（但し、研究助成事業は100万円を上限）

応募期限：平成16年2月29日（当日消印有効）

連絡先：社団法人 全日本冠婚葬祭互助会

事務局 社会貢献基金助成公募 受付係

TEL 03-3433-4415 FAX 03-3435-0880

URL <http://www.zengokyo.or.jp>

リーバイ・ストラウス・コミュニティ活動推進基金

対象事業：ソーシャル・ジャスティス（社会的公正の実現）をメイントーマとして、社会的に不公平な立場にあかれている人々を対象とした、以下の3分野における民間非営利団体の日本国内での活動を対象とします。

(1) HV/EIZ

(2) 経済的自立の支援

(3) 上記二分野に取り組む団体の組織基盤強化（過去の助成団体のみを対象）

※申請の際は当基金ホームページにある応募要項を必ずご覧下さい。

助成金額：1件あたり200万円を上限

応募期限：平成16年3月26日（必着）

連絡先：財団法人 日本国際交流センター

TEL 03-3446-7781 FAX 03-3443-7580

URL <http://www.jcie.or.jp/levi/>

おすすめBOOKS

21世紀のNPOを理解するためのテキスト

増補改訂版『NPOその本質と可能性』

内容：3部構成となっており、第1部は、NPOの組織形態や活動などについて図解で解説されています。第2部は、市民活動を理解するための歴史的背景、NPO法制度、NPOの理念・ビジョン、企業や行政とは違う価値・機能、NPOの組織、NPOから見たボランティアとは何かなどを系統的に解説しています。第3部は、筆者が実際に掲載した「ニューボランチア宣言」の中からピックとして参考になるものが掲載されており、NPOを理解するには最適の一冊です。

著者：加藤英夫

発行：特定非営利活動法人 せんだい・みやぎNPOセンター

価格：500円（税別・送料100円別）



TRCブックレット8 コミュニティ・レストラン実践ガイドブック

『NPOで拓く循環型地域社会』

—コミュニケーション・ビジネスとしてのNPOの起業モデル—

内容：コレス（コミュニケーション・レストランの略）というプロジェクトはNPO法人NPO研修・情報センターが、障がい者の自立支援、NPOの起業などの観点から実施しており、この内容が一冊のブックレットになりました。

コレスはエコクリッキングを取り入れ、毎の実材を使い、地産地消やゴミをなるべく出さないなど、自分たちの生活を見直す環境問題への取り組みにもつながっています。

著者：特定非営利活動法人 NPO研修・情報センター

発行：特定非営利活動法人 NPO研修・情報センター

価格：1000円（税別・送料200円別）



センターインフォメーション

小樽市で市民活動基礎講座を開催しました！

NPO法人 潮騒の街あたるとの共催により、「あたるコミュニケーションスクールフォーラム」が12月20日（土）と21日（日）に小樽市の小樽市街情報センターで開かれました。この基礎講座は小樽地域における各団体が連携し、社会教育の活性化を目指すために開催され、2日間で延べ80名が参加されました。

1日目はイタリア在住の歌手・翻訳者・通訳者の久根崎公子さんによる音楽トークがあり、このトークでは参加した小中学生や高校生、小樽商大の留学生などから音楽を中心としたイタリアの社会教育などについて活発な質問があり、イタリア文化への理解を深めることができました。

2日目は小樽市内の社会教育関係11団体の活動状況報告とネットワークづくりや学校問題などをテーマにディスカッションが行われました。

まとめとして、潮騒の街あたる副理事長の濱本さんから「どの国でも、どの時代でも子どもたちは変わらない」と感じた。また、各団体がかかえている問題解決のため、ゆるやかなネットワークづくりができるだけ早い時期に構築したいと、力のこもった言葉でしめくられました。



事務局ニュース

- 12月 6日（土）
・市民活動基礎講座（みんなで安心して暮らしていく地域について考えよう！）を美唄市で開催
- 12月 7日（日）
・市民活動地域フォーラム（オホーツクNPOフォーラム㏌網走）を網走市で開催
- 12月13日（土）
・市民活動スキルアップ講座（NPOの財務マネジメント講座）を札幌市で開催（その後2月まで全4回）
- 12月14日（日）
・市民活動スタッフ養成講座が終了
- 12月16日（火）
・大学のゼミでNPO論を学ぶ北大生20名が来所
- 12月20日（土）
・市民活動基礎講座（おたるコミュニケーション教育ネットワークづくりフォーラム）を小樽市で開催（21日迄）
- 12月24日（水）
・特定非営利活動法人の運営に関する調査のアンケートをNPO法人500団体に送付
- 1月10日（土）
・アドバイザー養成講座（災害とボランティアコーディネートなど）を当別町で開催（その後2月まで全9回）
- 1月19日（月）
・アドバイザー養成講座（私の人間觀・ボランティア観を確かめよう！など）を空知郡で開催（その後2月まで全6回開催）
- 1月24日（土）
・地域活動地域フォーラム（豊中市に学ぶNPO・行政・企業のネットワークについて～福祉社会課題の観点から考える）を小樽市で開催
- 1月27日（火）
・栃木県庁、(財)とちぎ総合研究機構から担当職員が来所

市民活動情報vol.14 2004.1

発行 北海道立市民活動促進センター

[財団法人北海道地域活動振興協会]

〒060-0003

札幌市中央区北3条西7丁目道庁別館西棟1階

TEL. 011-261-4440 FAX. 011-251-6789

E-mail : center@fureaizaidan.or.jp

URL : <http://www.fureaizaidan.or.jp/npo.html>